

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日					
びよランド		2025年 3月 20日					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点		課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・活動に必要な物以外は片付けスペースを有効活用している。 ・活動に応じて特性に分けてグループ分けしている。	・引き続きより良いサービスが提供できるように環境を整えていく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・人員基準配置を遵守し安全に過ごすことが出来るようにしている。	・必要な人員の確保に努めている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・動物のキャラクターのシールが貼ってあり、どの部屋に行けばいいのか分かるようになっている。	・今後も安全に過ごせることが出来るよう設備を整えていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・営業後に毎日掃除をして清潔にしている。 ・適宜環境整備をしている。 ・翌日に必要な準備や片付けをして活動しやすい空間にしている。	・様々な障害の特性に応じられるように環境を整えていく必要があるため検討を重ねていく。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・静養室にてクールダウンが出来るようになっている。 ・冷暖房も完備している。 ・寝具も用意し体調不良時に備えている。	・個々の状況に対応できるよう努めていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・部署内会議にて振り返りを行い、業務改善に努めている。	・引き続き、業務改善、業務効率化に努めていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者の声を職員間で共有し、改善に向けて話し合っている。	・保護者向け評価表を参考に支援の見直しをしていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・部署内会議にて意見を出し合い業務改善に繋げている。	・会議等で職員が意見を出しやすい雰囲気作りをしていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・違う視点からアドバイスをもらい業務改善に繋げている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・研修報告書を作成したり学んだ事を伝達している。 ・オンライン研修を取り入れて自宅でも研修出来るようにしている。	・研修に参加できるように職員配置を考慮している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HPIにて閲覧できるようになっている。	・支援プログラムに沿って支援し、利用児が楽しみにして来所出来る様に努めていく。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者、ご本人の意見を取り入れつつ、現状の課題等共有し、話し合いながら支援方法を決めている。	・ご本人、保護者、関わる職員へ分かりやすく支援計画に記載していく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・部署内会議、リーダー会議にて意見交換し、検討している。 ・ケース会議にて意見交換をしている。	・引き続き、個々の状況把握に努めていく。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・アセスメントを行い、部署会議で検討しており、支援計画に沿った支援をチームで行っている。	・引き続き職員全員が個別支援計画の目標を共有出来るようにしていく。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・日々の記録やケース記録を活用し確認している。	・今後も必要なアセスメントを行っていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・ご本人、保護者の方と話し、課題を明確にしたガイドラインをふまえて計画を立てている。	・ご本人、保護者、関わる職員へ分かりやすく支援計画に記載していく。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・月案、週案を立て目的を明確にして取り組んでいる。	・チームワークを意識して支援していく。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・行事を感じられる活動を取り入れたり、色々な経験が出来るように新しい活動を取り入れている。	・新しい活動は目的を共有して取り組んでいく。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・個別指導、集団活動等組み合わせサービスを提供している。 ・アセスメントにて状況を把握し、計画をしている。	・個々の成長段階を見極め、計画していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・予定や活動内容、役割分担が分かるようにボードに記載し、共有している。	・その日の活動がスムーズにいくよう打ち合わせをしっかり行い、チームで支援していることを意識していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・電子媒体等を活用し情報共有している。	・その日のうちに情報共有することを意識していく。 ・意見を言い合える関係を作り支援の見直しを行っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・毎月、会議の中で支援方法等課題にあげ検討している。	・支援方法をより統一出来るようにしていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・半年ごとに部署会議にてチームでモニタリングを行っている。	・成長段階に応じて見直しをしていく。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○		・自立を支援するための活動をベースに子どもたちが楽しみにしている季節の行事や地域の行事への参加などの活動も組み込むようにしている。	・4つの基本活動をバランスよく組み込んでいけるよう計画していく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・利用時間内にて自己選択できる場面を設けたり、自己決定をすることが出来る様に職員が個々にあったコミュニケーションツールにて行っている。	・引き続き個々の特性を把握し、支援者とのやり取りの中で自己決定する力を育てていけるようにする。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・積極的に参加し、情報共有している。	・担当者が参加できるように日程調整していく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・学校送迎時や、電話での連絡等で情報共有をしている。	・積極的な連携に努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・適宜、事業所での様子等子どもの情報を伝え、共有している。	・積極的な連携に努めていく。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・担当者会等で情報共有している。分からないことがあれば適宜連絡を取り合っている。	・分からないことがあれば連絡し情報共有に努めていく。また相談支援を通して担当者会の開催を促していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・移行する事業所へ担当者会等で情報提供し、スムーズに移行できるようにしている。	・今後もご本人が困らないようにスムーズに移行できるように情報提供をしていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・様々な研修に参加させて頂いて、スキルアップをしている。	・専門的な知識を習得していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域のお祭りや作品展に参加したり、事業所主催のお祭りにも遊びにきてくれるよう呼びかけ、交流の場となるようにしている。	・今後も交流できる機会を作っていく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・必ず出席できるように調整している。	・今後も参加し事業所間の繋がりを強化していく。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・送迎時にその日の様子を保護者に伝え、保護者と話しをする機会を設けている。 ・支援中に気になったことは保護者の方に家での様子を聞くようにしている。	・引き続き学校での状況、事業所での状況を伝え課題の共有をしていく。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・保護者支援の研修等に参加している。	・保護者支援の研修に参加し、サポートできる職員を増やしていく。	

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時にそれぞれの説明を行い、玄関の見やすい場所にいつでも閲覧できるように運営規定等を備えつけてある。	・契約時に分かりやすく説明し、変更があった時にはその都度説明、同意を得ていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・相談員さんの支援計画案やアセスメントシート、保護者さんとの話し合いから支援方針を決めている。	・アセスメントを十分に行い、保護者、利用児の意思を大切にしている。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・適宜必要な時に説明し、同意を得ている。	・時間を確保し、丁寧に説明できるようにする。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・毎年個別懇談会を行ったり、適宜相談や助言をさせて頂いている。	・日頃から相談して頂ける関係を築いていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・保護者主催のマルシェや納涼祭などを通して交流の場を設けている。	・保護者同士、兄弟同士が交友する場が増えるよう努めていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・ご意見BOXを設置している。 ・苦情があった場合には迅速に対応し改善に努めている。	・引き続き迅速に対応していく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月お便りを発行したり電子ツールにて情報を発信している。	・引き続き発信していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・外部へは匿名で使う等配慮している。 ・使用する場合には保護者に確認をしている。	・今後も個人情報を正しく取り扱いしていく。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・個々に応じて伝達方法を変えている。	・本人や保護者の特性を十分に理解し出来る限り配慮していく。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域のお祭りや作品展に参加し、交流したり事業所主催のお祭りにも地域の子どもさんが参加してくれている。	・地域との交流がもっと増やしていけると良い。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・毎月様々な避難訓練を実施して職員が対応出来るように力を入れている。	・マニュアルの周知や研修を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・外部から講師を呼び応急救護の訓練を実施している。	・どの場面、状況においても冷静に判断し、一人一人が役割を把握し上手に連携がとれるようにしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者の方から定期的に様子を聞き、てんかん発作については適宜対応マニュアルを状態に合わせて見直している。	・引き続き、確認を怠らないように努めていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者から契約前にアセスメントし、アレルギーの有無を確認し、配慮すべき点を聞き取りしている。 ・おやつ配慮をしている。	・今後も口にするものは原材料の確認をしている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全計画に基づき必要な管理を行っている。	・安全計画に基づき計画的に研修や訓練をし、安全管理に努めていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・安全計画に基づき職員、保護者に周知していく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・リスクマネジメント管理して毎月部署内会議で話し合い、職員間で共有や対策をしている。	・引き続き共有、対策をしていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修を行ったり、虐待防止委員会を設立している。 ・毎月部署内会議で支援の振り返りと見直しを行っている。	・虐待に対する研修に積極的に参加していく。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・毎月部署内会議で振り返りを行い、保護者に同意を得たうえで個別支援計画に記載している。また身体拘束をした日には記録を残している。	・事案がある場合には適切に対応していく。	